

取扱説明書

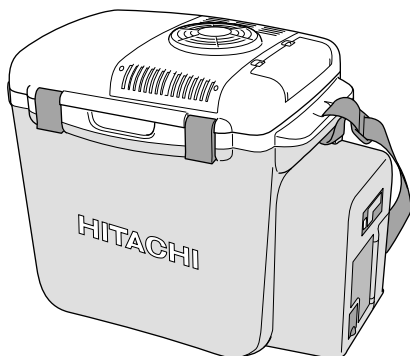
用途

- 飲料水などの保冷・保温
- リチウムイオン電池の充電

日立 コードレス冷温庫

UL 18DSL

このたびは日立コードレス冷温庫をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



◆本製品で利用できる電源

14.4 / 18 V 日立スライド式リチウムイオン電池
家庭用交流 100 V 電源 (AC 100 V 50/60 Hz)
直流 12 V 車載電源 (DC 12 V)

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

警告表示について	1
シンボルマークについて	1
安全上のご注意	2
リチウムイオン電池の使用上のご注意	9
各部の名称	11
標準付属品	12
仕様	13

はじめに

フタの開閉	14
蓄電池で使用する場合	15
家庭用交流 100 V 電源で接続する場合	16
直流 12 V 車載電源で接続する場合	17
電源スイッチ / モード設定	19
飲食物をいれる	20
蓄電池を充電する	21

使い方

お手入れ・保管	23
お手入れする	
吸気口 / 排気口の清掃	
作業後の収納と保管	
リチウムイオン電池の輸送について	
リチウムイオン電池の保管について	
故障診断	25
ご修理のときは	裏表紙

その他

警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、ご使用時の危険回避などを目的に本製品および取扱説明書に下記の表示をしております。
これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。

⚠ 警告、⚠ 注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」、「⚠ 注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品の着用、操作、メンテナンス等に関する重要なご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意 味	シンボルマーク	意 味
	取扱説明書を良く読んで内容を十分理解し、誤った使用で不慮の事故を起こさないように注意してください		禁止されている事項
	実行していただく強制事項		注意・警告が必要な事項
	蓄電池を取りはずしてください		電源プラグを抜いてください
	分解しないでください		接触禁止
	ぬれた手で触らないでください		水濡れ禁止

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

！ 専用の蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および、当社カタログに記載されている指定の蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

！ 正しく充電してください。

- 定格表示してある電源で使用してください。家庭用交流 100 V 電源または直流 12 V 車載電源を使用してください。

これら以外の直流電源やエンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

異常に発熱し、火災の恐れがあります。

- 温度が 0℃ 未満、または温度が 40℃ を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。

正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。

- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、本体を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。

⚡ 感電に注意してください。

ぬれた手で、電源プラグ（シガーライター接続プラグ）に触れないでください。

感電の恐れがあります。

！ 周囲状況も考慮してください。

- 本体・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。

感電や火災、爆発の恐れがあります。

- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。

感電や火災、爆発の恐れがあります。

⚡ 水につけたり、水を掛けたりしないでください。

短絡（ショート）・感電の恐れがあります。

⚡ 屋外では AC アダプタは使用しないでください。

発煙・発火などの恐れがあります。

警告

 次の場合は、製品のスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。また、電源プラグ（シガーライター接続プラグ）をコンセント（シガーライターソケット）から抜いてください。

- 使用しない、または、調整・点検する場合。
- その他、危険が予想される場合。思わぬ事故の原因になります。

 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。

 蓄電池を火の中に投入しないでください。

破裂したり、有害物質が出る恐れがあります。

 変形・破損した蓄電池は絶対に使用しないでください。

発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がきたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。

寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、故障の原因になります。

 電源プラグの刃および、刃の取付面にほこりが付着している場合は、良く拭いてください。

発煙・発火の恐れがあります。

 車載電源で使用する際は、本体が不用意に動かないようにラゲッジスペースや後部座席の足下などに、安定した状態で設置してください。

また、不安定な状態で座席に置かないでください。

座席に置いた場合、急ブレーキ等の反動で飛び跳ねる恐れがあります。

 運転席の足下に本体や蓄電池を置かないでください。

また車載用 DC コードがブレーキ等の操作ペダルやシフトレバーなどに近づかないよう配置してください。

コードがからまるなど、思わぬ事故の原因になります。

 車の運転中には、本体や蓄電池を操作しないでください。

思わぬ事故の原因になります。

 付属の車載用 DC コードを使用してください。

他のコードを使用すると、異常に発熱して、発煙・発火の恐れがあります。

 毛布状の座席カバーやフロアマット等の上では充電しないでください。

発火の恐れがあります。

 車載電源で使用中は、車からはなれないでください。

思わぬ事故の原因になります。

⚠ 警告

- ❌ ガソリン・シンナーなど引火しやすいものは入れないでください。

発火・爆発の恐れがあります。

- ❌ 医療品や学術試料は入れないでください。

思わぬ事故の原因になります。

- ❌ ドライアイスは入れないでください。

ドライアイスは溶けて気化すると膨張し、密閉状態では爆発する恐れがあります。また、急激な温度変化により、故障の原因になります。

- ❌ 製品の上に不安定な物や、液体を入れた容器などをのせないでください。

落下によるけがの原因になります。また、こぼれた液体で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電火災の原因になります。

- ❌ 付属のACアダプタや車載用DCコードは、本製品以外には使用しないでください。

発煙・発火の原因になります。

- ❌ ピンや針金などの金属物や異物を、吸気口・排気口やすき間に入れないでください。

事故や故障の原因になります。

- ❌ 使用中に異臭や、過熱、発煙など異常を感じたら絶対に使用しないでください。

直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

⚠注意

- ❌ 子供だけで使用させないでください。子供が近くにいるときは注意してください。

安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
思わぬけがの原因になります。

- ❗ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- 取扱い方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して使用してください。
- 常識を働かせてください。
軽率な取扱いや非常識な取扱いをすると、事故やけがの原因になります。

- ❗ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または、鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
- 本体や蓄電池を、温度が 50℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱など）に保管しないでください。
蓄電池の劣化や、発煙・発火の恐れがあります。

- ❌ 指定された用途以外に使用しないでください。

けがの原因になります。

- ❌ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って本体を運んだり、コードを引っ張ってコンセント（シガーライターソケット）から抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがったところに近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、使用・保管する場所に注意してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

- ❗ 注意深く手入れをしてください。

- 使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

⚠ 注意

❗ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、本体やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 本体を落としたり、何らかの損傷を受けたときは使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない製品は、使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。

❗ 修理は、専門店で依頼してください。



- サービスマン以外の人は、本体・蓄電池の分解や、修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

⚠注意

- ❌ 本体に腰掛けたり、踏み台にしないでください。
事故や故障の原因になります。
- ❌ 吸入口、排気口（風窓）をふさがないでください。
故障の原因になります。
- ❌ 市販の蓄冷材（硝安・尿素を含む）を入れないでください。
蓄冷材が漏れた場合、故障・変形の原因になります。
- ❗ じゅうたんやたたみ、塩化ビニール製の床材の上に設置する場合は、下に板などを敷いてください。
- ❌ 横向きや、逆さの状態で使用しないでください。
中身が流出する恐れがあります。
- ❌ ストーブなどの暖房機器や、高温になるものの近くに置かないでください。
本体の変形や、事故の原因になります。
- ❌ 風通しの良いところに設置してください。壁際でお使いのときは、壁面から 10 cm 以上はしないでください。
 - 家具の中や、ケースに入れないでください。
 - 空気の流れを必ず確保してください。
 - 室温の高い場所、直射日光の当たる場所などに設置しないでください。
性能が十分に発揮できないだけでなく、事故や故障の原因になります。
- ❌ フタを開けたまま、放置しないでください。
性能が十分に発揮できません。
- ❌ アイスクリーム・冷凍食品・生鮮食品は保存しないでください。
変質・劣化の恐れがあります。
- ❌ 開封後の飲食物などを長期保存しないでください。
変質・劣化の恐れがあります。
- ❌ 食材を、直接庫内に入れないでください。
抗菌処理されていないので、食材はラップするか、ポリ袋などに入れてください。
- ❌ 庫内に氷や水を直接入れないでください。
故障の原因になります。
- ❌ 保冷中で周囲温度が 5℃ 以下になるときは、ビン類など割れやすいものは入れないでください。
割れて、けがをする場合があります。
- ❌ 保温中ペットボトルを入れる場合は、ホット対応のもの以外は入れないでください。
ペットボトルは耐熱温度が低いものがあり、変形・破損する恐れがあります。
- ❌ 本体を引きずらないでください。
本体の故障や、床面を傷つける原因になります。

⚠注意

- ❌ フタを閉じたら、確実にラッチで固定してください。
- ❌ フタの開閉時に、指をはさまないよう注意してください。
- ❌ フタを持って、運ばないでください。
- ❌ フタがラッチで固定されていない状態で、運ばないでください。
- ❌ フタを開けた状態で、フタに強い衝撃を与えないでください。
- ❌ スプレー式の殺虫剤、芳香剤、消臭剤を吹き付けないでください。
- ❌ 水や海水に沈めたり、高圧の水を直接噴射しないでください。
- ❌ 庫内に水分を残した状態で放置しないでください。

放置すると、カビの発生原因となります。きれいに抜き取り、良く乾かしてください。

- ❌ 丸洗いはしないでください。
隙間から断熱材内部に水が入り、カビの発生の原因になります。
- ❌ みがき粉、たわし、熱湯、シンナー、ベンジン類、その他有機溶剤を含んでいるもので、洗淨しないでください。
- ❌ 運搬などの際は、強い衝撃や振動を与えないでください。
故障の原因になります。
- ❗ 必要なとき以外は、本体の電源ジャックのジャックカバー、バッテリーカバーを閉めておいてください。
事故や故障の原因になります。
- ❗ 直流 12 V 車載電源で使用中は、エンジンを停止する前に接続プラグを抜いてください。
エンジンを切っても、電源の切れない車種があります。接続プラグをさし込んだ状態で放置するとバッテリーがある場合があります。
- ❌ 車のトランクの中で使用しないでください。
高温となり、故障の原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NM 仕様を除く)

本製品を使用中、スイッチを入れたままでも下記①、②の場合、出力が停止する場合がありますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなると出力が停止します。

このときは速やかに充電してください。

② 蓄電池が過熱状態になると、出力が停止する場合があります。

このときは、蓄電池の使用を中断し、本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱、発煙、発火を防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

⚠警告

❗ 蓄電池に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。

- 使用中に切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 蓄電池を使用しないとき、切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
- 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。

⊘ 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。

⊘ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。

⊘ 蓄電池の端子間を短絡(ショート)させないでください。

釘袋などに入れると、短絡(ショート)して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⊘ (+)(-)を逆にして使用しないでください。

⊘ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガーライターソケットに接続しないでください。

⊘ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。

❗ 充電の際に、所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

⊘ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

❗ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。

⊘ 強い静電気の発生する場所では、使用しないでください。

❗ 蓄電池は確実に取付けてください。

蓄電池が抜け落ちて、事故の原因になります。

⚠注意

⊘ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取出して使用しないでください。

⊘ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないください。

❗ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。

❗ 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

放置すると、液により目に障害を与える恐れがあります。

❗ 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

皮膚がかぶれる恐れがあります。

❗ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

はじめに

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

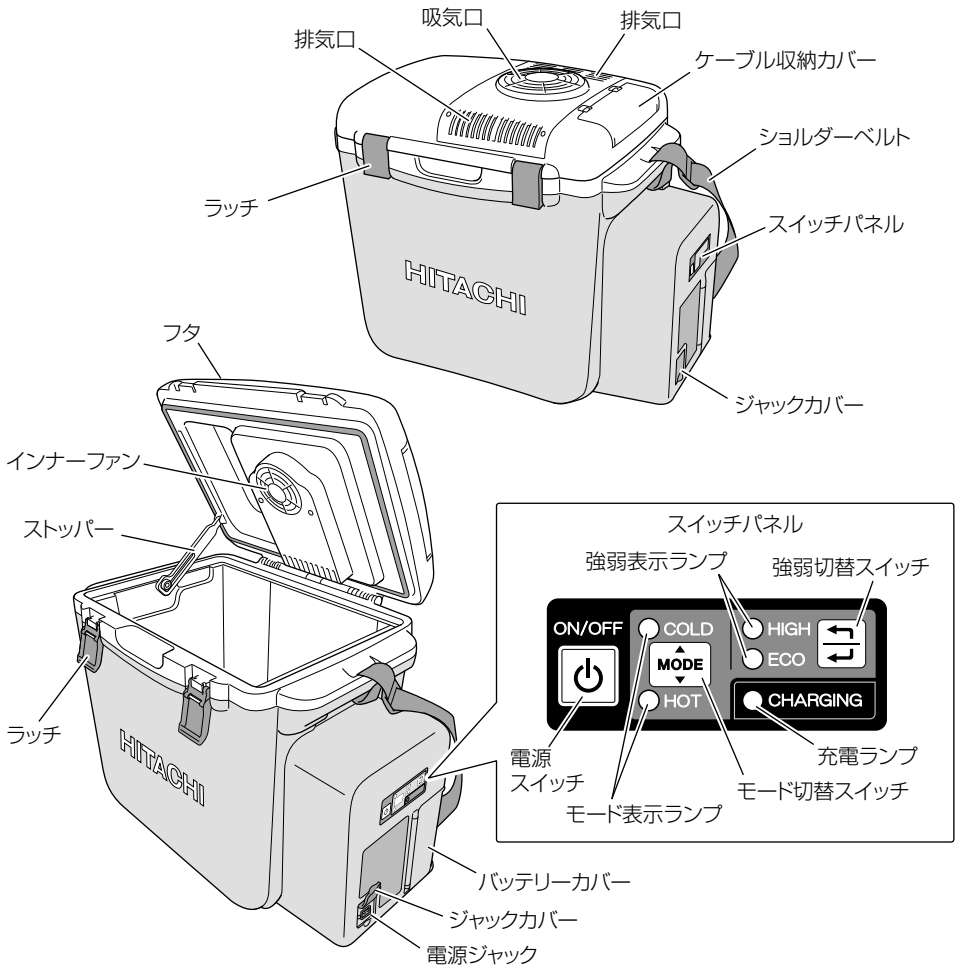


○蓄電池は、当社純正品をご使用ください

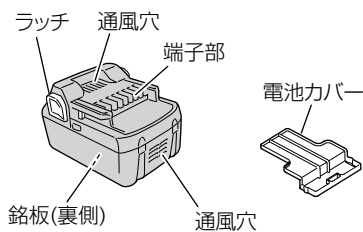
当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称

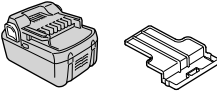
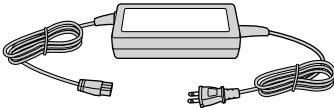
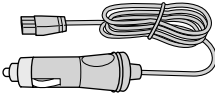
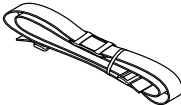
本体



蓄電池



標準付属品

品名（形名）	形名 仕様	UL18DSL	
		LYM	NM
蓄電池 BSL1860 （電池カバー付） 		1 個	—
AC アダプタ （AC100V・2A品） 		1 本	1 本
車載用 DC コード 		1 本	1 本
ショルダーベルト （本体装着） 		1 本	1 本

はじめに

仕 様

1. 本体

形名			UL 18DSL
入 力 電 源			14.4 / 18 V スライド式リチウムイオン電池
			家庭用交流 100 V 電源 (AC 100 V 50/60 Hz)
			直流 12 V 車載電源 (DC 12 V)
内 容 積			25 L
冷 却 方 式			電子冷却方式
保 冷 性 能	保 冷 温 度	HIGH	外気温に対して-20℃ (最低温度 5℃)
		ECO	外気温に対して-10℃ (最低温度 5℃)
	冷却時間※1	AC/ 車載電源	4 時間
		蓄電池	4 時間※4
保 温 性 能	保 温 温 度	HIGH	外気温に対して+40℃ (最高温度 55℃)
		ECO	外気温に対して+25℃ (最高温度 55℃)
	加温時間※1	AC/ 車載電源	3 時間
		蓄電池	3 時間※4
保冷 / 保温可能時間※2		HIGH	4 時間 (BSL 1860 使用時)
		ECO	6 時間 (BSL 1860 使用時)
蓄 電 池 充 電 時 間※3 〔気温 20℃時〕			6.0 Ah 品 : 約 4 時間 2.5 Ah 品 : 約 1 時間 40 分 5.0 Ah 品 : 約 3 時間 20 分 2.0 Ah 品 : 約 1 時間 20 分 4.0 Ah 品 : 約 2 時間 40 分 1.5 Ah 品 : 約 1 時間 3.0 Ah 品 : 約 2 時間 1.3 Ah 品 : 約 1 時間
使 用 温 度 範 囲			0℃～ 40℃
外形寸法 (縦 × 横 × 高さ)			340 × 540 × 445 mm
質 量			7.2 kg (蓄電池を除く)

※1: 水 330 ml を冷却 / 加温した場合、保冷温度・保温温度に達するまでの時間。
内容物や、使用環境などにより異なります。

※2: 水 330 ml を一定温度で保冷 / 保温した場合。
内容物や、使用環境などにより異なります。

※3: 蓄電池の種類や充電状態、使用環境などにより異なります。

※4: 冷却時: 蓄電池を使用して冷却した場合、外気温-20℃に到達するためには、
BSL1860 電池 2 本分の電力が必要になります。

加温時: 蓄電池を使用して加温した場合、外気温+40℃に到達するためには、
BSL1860 電池 1.5 本分の電力が必要になります。

2. 蓄電池

形 名		BSL1860
電 池 電 圧		18 V
容 量		6.0 Ah

フタの開閉

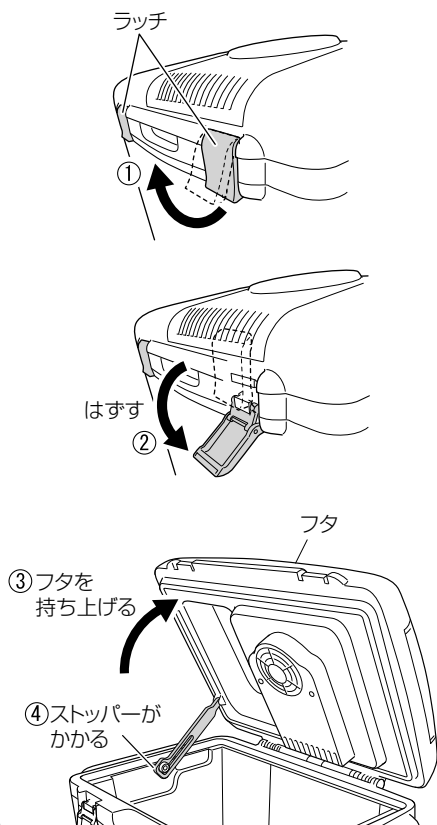
⚠注意

- ❌ フタを閉じたら、確実にラッチで固定してください。
- ❌ フタの開閉時やストッパーをはずすときに、指をはさまないように注意してください。

- ❌ ストッパーをはずさずに、無理にフタを押し上げたり、押し下げたりしないでください。
ストッパーの破損やけがの原因になります。

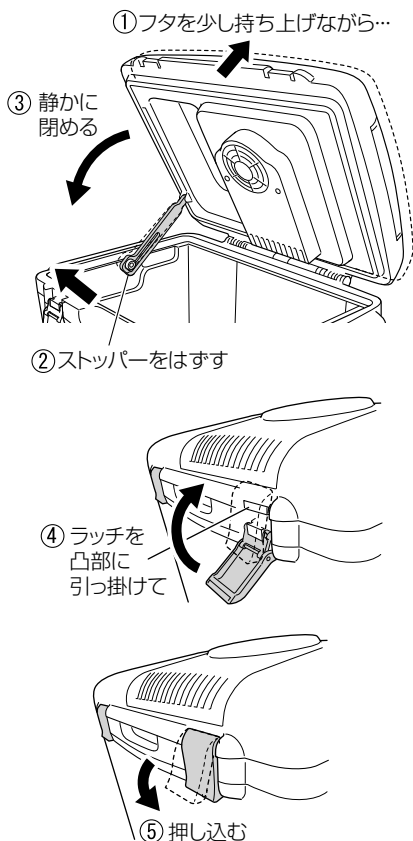
開

2か所のラッチをはずして、フタをストッパーがかかるまで、上部に持ち上げます。



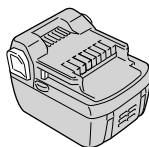
閉

フタを閉めるときは、一度ストッパーをはずし、静かに閉めてください。

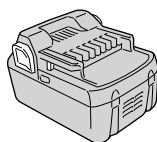


蓄電池で使用する場合（蓄電池の取付け・取りはずしのしかた）

注 蓄電池で使用する場合は、テレビ・ラジオおよびアンテナ線などから、約1 m程はなして設置してください。映像や音声にノイズが入る場合があります。



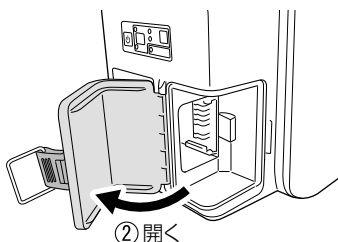
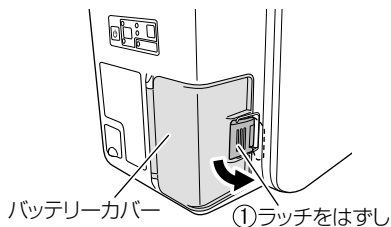
(BSL 14xxシリーズ)



(BSL 18xxシリーズ)

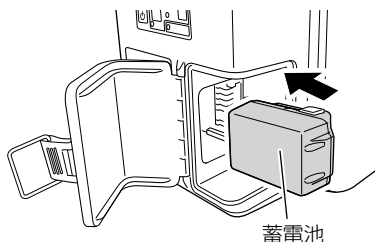
1 バッテリーカバーを開く

図のように、バッテリーカバーを開きます。



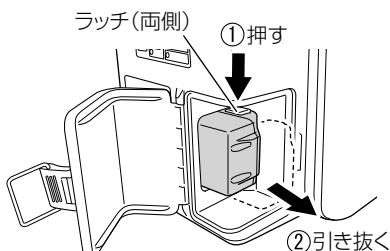
2 蓄電池を取付ける

図の向きで、カチッと音がするまで、しっかりと押し込んでください。



取りはずすとき

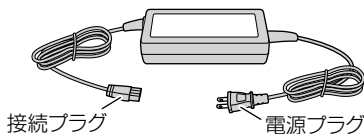
両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



家庭用交流 100 V 電源で接続する場合

⚠ 警告

手順①、②については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。



AC アダプタ

1 電源を確認する

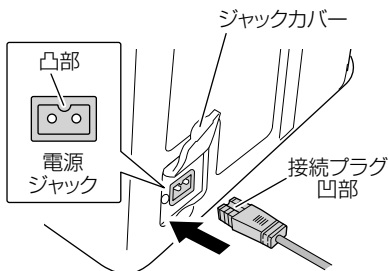
付属の AC アダプタは家庭用交流 100 V 電源用です。
200 V 電源やエンジン発電機、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついて、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

3 AC アダプタの接続プラグを、本体の電源ジャックにさし込む

ジャックカバーをめくり、AC アダプタの接続プラグの凹部と本体の電源ジャックの凸部を合わせて、奥までしっかりさし込んでください。

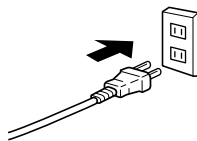


注 • 接続プラグの上下を確認して、正しい向きでさし込んでください。
上下を逆にさし込むと、故障の原因になります。

• 接続プラグは、奥までしっかりさし込んでください。
きちんとさし込まないと、過熱し故障する原因になります。

• 蓄電池が装着された状態で、電源プラグをコンセントにさし込むと、電源スイッチの ON/OFF にかかわらず充電が開始されます。
(P.21「蓄電池を充電する」参照)

4 AC アダプタの電源プラグをコンセントにさし込む



● 家庭用交流 100 V 電源への接続を終了するときは

- ① 電源スイッチを OFF にする
- ② 電源プラグをコンセントから抜く

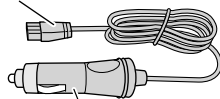
直流 12 V 車載電源で接続する場合

⚠ 警告

手順①、②については、シガーライター接続プラグを、シガーライターソケットにさし込む前に確認してください。

注 アクセサリー ON のみの状態（車のエンジンがかかっていない状態）で、接続を継続しないでください。
"バッテリーあがり"の原因になります。

接続プラグ



シガーライター接続プラグ

車載用 DC コード

1

電源を確認する

付属の車載用 DC コードは直流 12 V 車載電源用です。

24 V 車載電源や他の直流電源では使用しないでください。

また、延長コードや分岐コードは使用せず、シガーライターソケットに直接接続してください。

コードが発熱し、故障する原因になります。

2

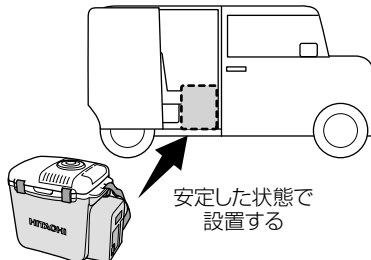
シガーライター接続プラグとシガーライターソケットを確認する

ガタついて、すぐ抜けてしまう場合は修理を依頼してください。また、車側に原因があることも考えられますので、自動車修理店等にご相談ください。
そのまま使用すると、過熱して、事故の原因になります。

3

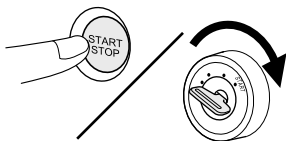
本体を設置する

車に載せる際は、本体が不用意に動かないように、安定した状態で設置してください。



4

車のエンジンをかける



注

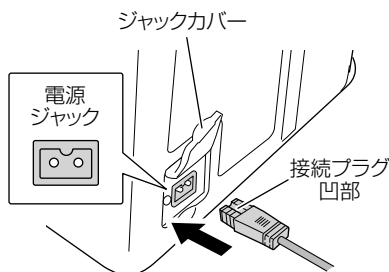
蓄電池が装着された状態で、シガーライター接続プラグを、車のシガーライターソケットにさし込むと、電源スイッチの ON/OFF にかかわらず充電が開始されます。

(P.21「蓄電池を充電する」参照)

5

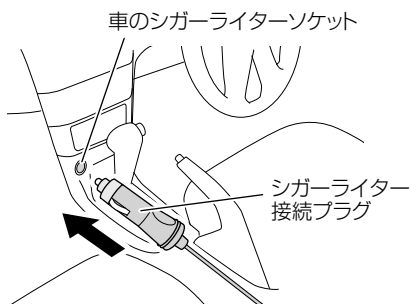
車載用 DC コードの接続プラグを本体の電源ジャックにさし込む

ジャックカバーをめくり、車載用 DC コードの接続プラグの凹部と本体の電源ジャックの凸部を合わせて、奥までしっかりさし込んでください。



6

車載用 DC コードのシガーライター接続プラグを、シガーライターソケットにさし込む



注

- 接続プラグの上下を確認して、正しい向きでさし込んでください。上下を逆にさし込むと、故障の原因になります。
- 接続プラグは、奥までしっかりさし込んでください。きちんとさし込まないと、過熱し故障する原因になります。

● 直流 12 V 車載電源の接続を終了するときは

- ① 電源スイッチを OFF にする
- ② 接続プラグを抜く
- ③ エンジン进行止める

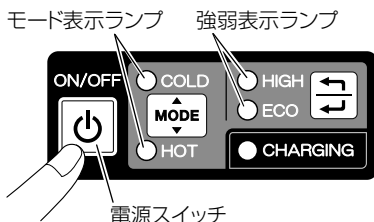
注

必ず接続プラグを抜いてください。エンジンを切っても、電源の切れない車種があります。接続プラグをさし込んだ状態で放置すると、バッテリーがあがる場合があります。

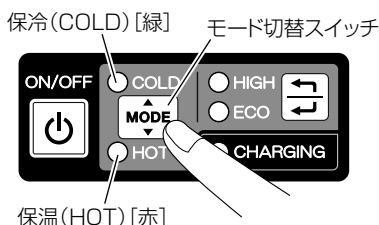
電源スイッチ / モード設定

電源を接続後、電源スイッチを「ON」にすると、保冷・保温機能が作動します。
希望のモードを選択し、設定してください。

- 1 電源スイッチを「ON」にします。
モード表示ランプ / 強弱表示ランプが点灯します。
(最後に電源 OFF にした、直前のモードをランプで表示します。)

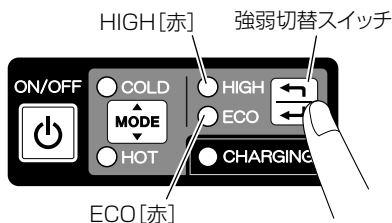


- 2 モード切替スイッチを押して、保冷 (COLD) [緑] または 保温 (HOT) [赤] を選択します。



- 注** 運転中に保冷 (COLD) [緑] / 保温 (HOT) [赤] の切替えをするときは、一度電源を OFF にし、約 1 時間ほど時間を置いてから切替えてください。

- 3 強弱切替スイッチを押して、HIGH または ECO を選択します。



- 注**
- 温度制御のため、自動でファンが止まったり動いたりする場合がありますが、故障ではありません。
 - ランプが全点滅した場合は、冷温庫の異常です。直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

〈モードと温度の目安〉

モード	温度切替え	温度の目安
保冷 (COLD)	HIGH	外気温に対して -20℃ (最低温度 5℃) 〈例: 外気温 30℃ の時、約 10℃ になります。〉
	ECO	外気温に対して -10℃ (最低温度 5℃) 〈例: 外気温 30℃ の時、約 20℃ になります。〉
保温 (HOT)	HIGH	外気温に対して +40℃ (最高温度 55℃) 〈例: 外気温 10℃ の時、約 50℃ になります。〉
	ECO	外気温に対して +25℃ (最高温度 55℃) 〈例: 外気温 10℃ の時、約 35℃ になります。〉

飲食物をいれる

⚠注意

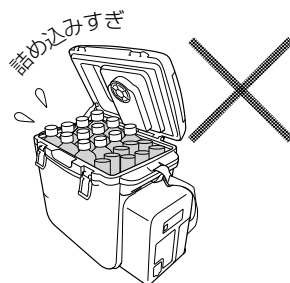
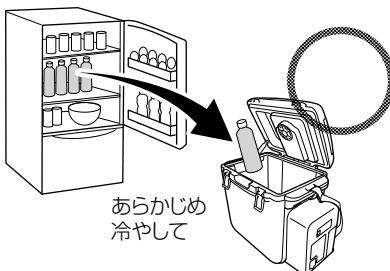
- ❌ **アイスクリーム・冷凍食品・生鮮食品は保存しないでください。**
変質・劣化の恐れがあります。
- ❌ **庫内に氷や水を直接入れないでください。**
感電や破裂の恐れがあります。
- ❌ **保冷中で周囲温度が5℃以下になるときは、ビン類など割れやすいものは入れないでください。**
割れて、けがをする場合があります。

- ❌ **保温中ペットボトルを入れる場合は、ホット対応のもの以外は入れないでください。**
ペットボトルは耐熱温度が低いものがあり、変形・破損する恐れがあります。
- ❌ **開封後の飲食物などを長期保存しないでください。**
変質・劣化の恐れがあります。
- ❌ **食材を、直接庫内に入れしないでください。**
抗菌処理されていないので、食材はラップするか、ポリ袋などに入れてください。

飲食物を入れ、しっかりと本体のフタを閉めてください。
庫内の保冷・保温温度は外気温に左右されますので、設置場所に配慮してください。

使い方のコツ

- 急ぐ場合は、あらかじめ庫内を冷やして（温めて）から、あらかじめ冷やした（温めた）ものを入れると効果的です。
庫内温度と温度差があるものは、冷却・加熱に時間がかかります。
- 庫内は、適度なすき間をあけてください。
詰め込みすぎると、ファンからの気流が悪くなり、保冷・保温の効率が下がります。
- 水気や汚れは拭き取ってから入れてください。
- 食材は密封容器やポリ袋・ラップなどで密封してください。
臭い移り、変質・乾燥を防ぐことができます。
- フタはしっかりと閉め、頻繁に開け閉めしないでください。
保冷・保温の効率が下がります。



蓄電池を充電する

本製品は、14.4/18V 日立スライド式リチウムイオン電池の充電機能を内蔵しており、充電器の代わりとして蓄電池を充電できます。

電源、蓄電池の充電、保冷・保温機能の作動の組合わせは、以下のようになっています。

電源の状態	電源スイッチ	蓄電池の充電	保冷・保温機能の作動
家庭用交流 100 V 電源または、直流 12 V 車載電源に接続した状態で蓄電池を本体に取付ける	OFF	○	×
	ON	○	○

● 充電のみを行う場合（保冷・保温を行わない）

1 電源を接続する

家庭用交流 100 V 電源の場合
(P.16 ①～④参照)

直流 12 V 車載用電源の場合
(P.17 ①～⑥参照)

2 蓄電池を取付ける

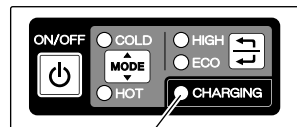
- カチッと音がするまで、蓄電池をしっかり押し込んでください。
(P.15「蓄電池を使用する場合」参照)
- 充電を開始すると、充電ランプが赤に連続点灯します。
(P.22「充電ランプの表示について」参照)

注 電源スイッチは OFF のままにしてください。(充電のみの場合)

ON にすると、保冷・保温機能が作動します。

3 充電が終わったら

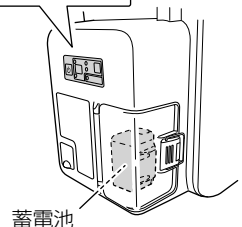
- 充電が完了すると、充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
- 電源プラグ(シガーライター接続プラグ)をコンセント(シガーライターソケット)から抜き、本体から蓄電池を抜き取ってください。



充電ランプ[赤]

充電開始：●
連続点灯

充電完了：●
点滅



蓄電池

充電時間【気温 20℃時】

BSL1860

約 4 時間

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

お手入れ・保管

⚠ 警告

長期間使用しないときや、お手入れ・保管の際は、必ず電源スイッチを OFF にし、AC アダプタ、車載用 DC コード、蓄電池を本体から取りはずしてください。

●お手入れする

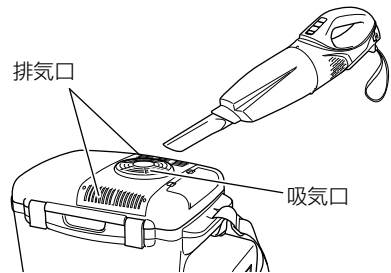
本体の外装および庫内は、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。水を含ませた布で拭き取り、乾いた布でよく水気を拭き取ってください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

注 本体を丸洗いしないでください。
故障の原因になります。

●吸気口 / 排気口の清掃

定期的に点検して、吸気口・排気口を掃除機などで清掃してください。

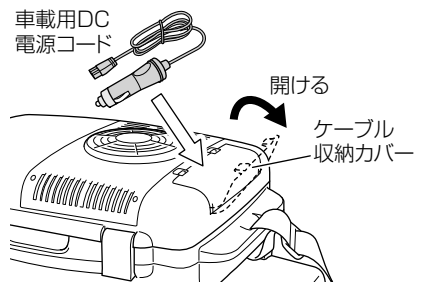
注 ほこりがたまると保冷・保温効果が下がります。



●作業後の収納と保管

この製品は、車載用 DC コードを本体フタのケーブル収納カバー内に収納できます。
なお、本体を使用した後は、温度が 50℃ 未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しないでください。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しないでください。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しないでください。



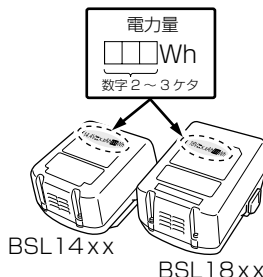
●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

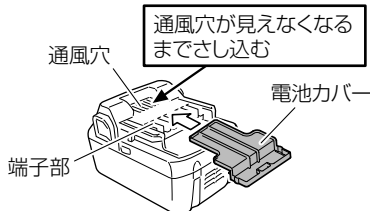


●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材と一緒にしないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。
- 充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、本体と蓄電池を組でご持参ください。

1. 保冷・保温

状 況		原 因	対 策
保冷・保温機能が 作動しない	蓄電池	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
		蓄電池が確実に取付いていない	カチッと音がするまで、蓄電池を押し込んでください。
	家庭用交流 100 V 電源	本体から AC アダプタの接続プラグ がはずれている	AC アダプタの接続プラグを確実に接続 してください。
	直流 12 V 車載電源	本体から車載用 DC コードの接続プ ラグがはずれている	車載用 DC コードの接続プラグを確実に 接続してください。
		車のエンジンがかかっていない	エンジンをかけてください。
		シガーライターソケットに灰やごみ が詰まっている	灰やごみを取除いてください。
			電源スイッチが「OFF」になっている
よく冷えない、よく温まらない	直射日光のあたる場所や、温度が高 い場所、火気の近くで使用している		直射日光のあたらない場所や、日陰の 風通しの良い場所で使用してください。
	吸気口・排気口がふさがっている		吸気口・排気口をふさがらないでください。
	吸気口・排気口が汚れている		吸気口・排気口の清掃をしてください。
	飲食物を詰めすぎて、庫内の気流が 悪くなっている		庫内は適度なすき間をあけてください。

2. 充電

状 況	原 因	対 策
本体を電源に接続し、蓄電池を取付けても、充電ランプが点灯しない	本体または蓄電池に異常がある	販売店に修理を依頼してください。
充電ランプが赤の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が確実に取付いていない	カチッと音がするまで、蓄電池を押し込んでください。
	蓄電池の取付け部または、蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取除いてください。
	本体または蓄電池に異常がある	販売店に修理を依頼してください。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。

3. その他

状 況	原 因	対 策
ランプが全点滅する	本体または蓄電池に異常がある	販売店に修理を依頼してください。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておかれますと、
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご使用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

右のQRコードをバーコードリ
ーダー機能付きの携帯端末より
読み取ることで、最新の全国営
業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>